

講演会「故繊維由来の再生糸の今 ～普及に向けて～」

繊維産業は国際的に環境負荷の大きさが問題視されており、グローバルな視野で解決方法を探っていく必要があります。わが国でも繊維 to 繊維リサイクルの取り組みに重点が置かれ、研究が進められているところですが、本講演会では、2023 年から 2024 年にかけて発表され、話題となっている二社の取り組みについてご講演いただくことになりました。一つは東洋紡せんい(株)様の『さいくるこっと®』です。インドの大手紡績会社のバルドマンを通じて開発されました。製造工程中に発生した、くず糸、生機の端材、加工生地のカットくずなどを独自の工法でリサイクルし再原料化する技術です。繊維のダメージが少ないのが特長で、リサイクル原料 100%でも紡績可能（試作レベルで 20 番手コンパクト実績あり。40 番手挑戦中）との事です。もう一つは、セイコーエプソン(株)様のドライファイバーテクノロジー（古紙・木材・衣類などの繊維状の廃棄物・使用品から再生繊維を生み出すことが可能な技術）を応用した解繊技術です。香港繊維アパレル研究開発センターと共同開発を行い、繊維再生の社会実装を目指しておられます。

ご講演の後は普及委員会の委員を交えて、再生糸普及の課題と将来についてパネルディスカッションを行う予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】2024 年 7 月 24 日（水）

【会場】ハイブリッド開催（大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4）と Microsoft Teams）

【内容】予定、講師は会場にて講演予定

13:30～14:30	講演（1）『『さいくるこっと®』で紡ぐ SDGs 世界のファッション』 東洋紡せんい（株）マテリアル事業部 原糸販売 G 大島 享
14:40～15:40	講演（2）「エプソンの環境材料開発－再生繊維開発を中心として－」 セイコーエプソン（株）技術開発本部 執行役員 細野 聡
15:50～16:50	パネルディスカッション「再生糸普及の課題と将来性」 （司会：繊維リサイクル技術研究会委員長 木村照夫） パネラー 講師並びに普及委員数名
17:00～18:30	懇親会（同ビル地下 1 階）

【主催】日本繊維機械学会再生糸普及委員会

【協賛】大阪染色協会、関西ファッション連合

【参加費（税別）】会員 8,000 円、非会員 12,000 円、学生無料、交流会 5,000 円

【定員】会場 40 名（定員に達し次第、締め切らせていただきます）、オンラインは定員なし

【申込締切】7 月 10 日（水）

【申込】方法（1）①氏名、②所属、③連絡先（住所、メールアドレス）、④会員種別、⑤参加方法（会場・オンライン）、⑥懇親会参加有無を記入の上、E-mail にてお申込みください。

方法（2）WEB サイト（https://tmsj.or.jp/lecture/web_entry/）よりお申込みください。

【申込先】日本繊維機械学会 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

【注意事項】（1）開催前に配布資料、請求書等を送付します。参加費は事前または開催後 3 か月以内に振込みにてお支払いください。恐れ入りますが振込手数料は各自でご負担ください。

（2）講演の録音・録画、ならびに講演中のスライド画面等の撮影は固く禁止します。

（3）お申込み頂いた方のみの視聴に限定します。

一般社団法人日本繊維機械学会 再生糸普及委員会

(2023-3-25 理事会設立承認)

環境に対する負荷が大きいとされる繊維、ファッション業界の世界情勢を踏まえ、日本繊維機械学会では、本学会の委員会、研究会の総力を結集して人と環境に優しい次世代の再生糸を開発し、新しい糸文化の構築を目指す委員会『再生糸普及委員会』を設立することになりました。

持続可能社会の実現のためにサーキュラーエコノミーの構築が重要視されています。繊維製品のサーキュラーエコノミーの実現には繊維製品から繊維製品への循環が理想であり、そのためには廃棄繊維製品から新たな糸を再生する技術開発が必要不可欠です。また、再生された糸を広く社会実装させていくためには、着用・使用する人にとって優しく心地よい繊維製品である必要があります。再生糸を新たな材料ととらえて、再生糸利用製品の心地よさの標準化・デジタル化を行っていくことも、この委員会の使命です。また、委員会を通して、学会がプラットフォームとなり、産官学の横のつながりだけでなく、次代を担う若い人を含む異なる世代のつながりを深め、繊維を取り巻く動向の調査・分析・情報共有や意見交換の場となるべく活動してまいります。とくに、社会実装することに重きをおき、必要に応じて分科会をつくり、その中で具体的な課題に対して研究を行うことにしています。

活動内容

1. 繊維のSDGsにかかわる情報共有・意見交換（協働・共創型のプラットフォーム）
2. 付加価値のある再生糸の開発・製造と普及
3. 機械的特性に優れた再生糸製造のための紡績機械開発
4. 再生糸の標準化
5. 再生糸を用いた布の開発と評価
6. 最終製品の開発と評価、環境配慮設計
7. 生活者・消費者意識についての調査及び提言
8. その他

【運営委員】

委員長：井上 真理（日本繊維機械学会監事、神戸大学大学院教授）

副委員長：木村 照夫（繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授）

副委員長：喜成 年泰（繊維機械研究会委員長、金沢大学教授）

委員：森下あおい（繊維リサイクル技術研究会エンウイックル委員長、滋賀県立大学教授）

委員：松尾 憲久（繊維・未来塾塾長、日本アパレル・ファッション産業協会副理事長、
マツオインターナショナル(株)代表取締役社長）

委員：白谷喜世彦（繊維・未来塾副塾長、大津毛織(株)代表取締役）

委員：西田 裕紀（関西ファッション連合（KanFA）SDGs推進室）

委員：竹本由美子（武庫川女子大学准教授）

委員：宮原佑貴子（京都光華女子大学講師）

事務局：高平 恭護（日本繊維機械学会事務局長）